

(3)

10 部内第 4 巻

軍事参議院参議會應答資料

昭和十六年十一月四日  
参謀本部

86

0412

一、武力發動ニ當リ内外へノ發表内容如何 (東久邇宮)

目下研究中ナルモ

(1) 大義名分ヲ明ラカニス

(2) 戰爭目的ヲ明ラカニス

(3) 米英ノ對日壓迫情況ヲ明ラカニス

(4) 譲リニ譲リタルモ米度省ヤス眞ニ已ムヲ得ス自存自衛ノ爲戰爭ヲ

發起スル旨ヲ明ラカニス

一、獨伊トノ外交交渉内容如何（東久邇官）

(i) 對米宣戰

(ii) 對英單獨不媾和

(iii) 近東作戰ノ積極化

(iv) 通商破壞戰ノ協力

一 作戰實行上陸海空ノ協同ヲ容易ナラシムル爲作戰ノ統一ヲ圖ル上  
ニ於テ單一指揮部 本ハ大本營ヨリ先ハ軍等ニ於テモ之ヲ實施スル  
ノ考ヘテ有セラルルヤ

( 朝 香 宮 )

陸海協力一緻作成遂行ニ關シテハ中央現地共ニ方々ヲ期シ陸海一體  
ノ實ヲ發揚シツツアリ御安心ヲ乞フ

89

0415

一、南方作戰ノ重點如何（朝香宮）

(1) 英領馬來及比島ニ對シ夫々急襲上陸及空襲先制ヲ以テ同時ニ作戰

90

ヲ開始ス

(2) 陸軍ノ兵力の重點ハ全般ノ關係上ヨリ馬來作戰ニ存ス

0416

一、北樺太ハドウスルカ  
（朝 香 官）

イ、南方作戦間ハ武力ニヨリテ北樺太ヲ占領スル考ナシ

只、外交上ノ施策

(1) 適時北樺太石油石炭利權ノ實質的行使ヲ要求ス

(2) 對「ソ」情勢有利ニ進展セル場合ハ北樺太ノ買収ヲ提議スルコ

トモ考ヘアリ

一、長期戦ニ對シ兩總長ハ戰勝ノ確信アリヤ  
（朝 香 宮）

説明ニヨリ

一、武力發動ノ時機ヲ十二月初頭卜定メタル理由如何（朝香宮殿下）

ノ 戦略上

イ、日米軍備ノ比率關係

ロ、南方防備増強

ハ、作戦地ノ氣象

ニ、對北方顧慮

2. 政略上



イ、デリ貧

只對瀾伊提撈

0420

一、長期戦ヲ避クル方法ナキヤ

(寺内大将)

久松義久

速戦速決ハ困難ニシテ長期戦ヲ予期セサルヘカラス名案ナキモ左記

ニヨリ速カニ戦争終結ニ努ム

一 戦争目的ノ確立 (南北ニ正面戦争ノ極力防止)

二 對米海軍決戦ノ強要

三 米ノ對日戰意喪失

(4) 獨ノ對米宣戦、英本土攻略等日獨伊三國協力ニヨリ先ツ英ノ屈

服

(四) 通商破壊戰ノ徹底

(三) 兩方要域確保ニヨル我長期戰態勢ノ確立 (對米不敗態勢ノ確立)

(二) 米軍需資源 (「ゴム」錫)ノ獨占

0422

一、英米カ先ニ攻勢ヲ採ル虞ナキヤ

其場合ノ處置如何(寺内大將)

(イ) 公算ナキニシモアラス

(ロ) 自衛權ノ範圍ニ於テ行フハ蓋シ已ムヲ得サル、シ但シ其ノ戦闘

行爲即チ開戦ニアラス

(ハ) 右戦闘行爲カ十二月初頭以前ニ生起セル場合開戦スヘキヤ否ヤ

ハ御聖斷ニ依ルヘキモノトス

一、南方占領地行政ノ特異點如何

(イ) 國防重要資源ノ取得

(ロ) 作戰及補給ノ自由ノ確保

(ハ) 前項目の達成ノ爲ニハ民生ノ重座ヲ厭ハス(支那ノヤリ方ト違フ)

(ニ) 在来ノ組織及民族的慣行ノ利用尊重(支那ノ如ク一々干涉シナイ)

0424

一乙案カ成立シ米カ物ツクドチカツタラ國防力ニ及ホスゴトナキヤ

(寺内大將)

(1) 國防力ヲ低下スルコト大

(2) 國難ハ依然トシテ増大ス

(3) 確實ナル實行ノ保證ヲ取付クルコト必要ナルモ之ニ關シテハ研究

ヲ要スルモノトアリ

(4) 本案ニヨリ日米妥協成立スルモ國家ノ前途ニ對シテハ憂慮ニ當ヘ

サレモノアリテ決シテ安堵ヲ許サス即支那事態ハ解決セス又我カ

國防ハ米ノ動向ニ左右セラレルコト大ナル等其自主性ナク之ニ關

シテハ將來之カ對策ニ付十分ナル檢討工夫ヲ要スルモノアリト思

考ス

0426

一、對南方作戰間對「ソ」戰ノ惹起防止ノ爲戰爭指導上如何ニ考慮セテ

レアルヤ (山田大將)

97

(1) 開戦時機ノ選定

北方作戰ノ困難ナル冬季間ニ南方ノ主要攻略作戰ヲ終了スル如

ク開戦時機ノ選定ヲ爲シ得ル限り速カナラシムルヲ要シ十二月初

頭ヨリ遅延ヲ許ササル情況ニ在リ

(2) 對「ソ」外交上ノ考慮



(1) 八月四日大本營政府連絡會議ニ於テ決定セル「對ソ」外交交

涉要綱」ニ基キ依然對「ソ」交渉ヲ續行シ先方ノ意向ヲ打診シ

ツツ我企圖ヲ秘匿シ對「ソ」絶縁状態ヲ避クルニ勉ム

(2) 「ソ」ヲ三國樞軸陣營ニ引キ入ルルコトアルヲ考慮ス

獨伊ノ意向ヲ打診シタル結果ハ帝國ニ於テ之カ斡旋ヲ考慮ス

(ハ) 作戰指導上ノ考慮

對「ソ」作戰軍備進展ニ伴フ我企圖ノ秘匿ニハ万全ノ考慮ヲ拂ヒ

「ソ」聯ヲ刺戟セサルニ勉ム

一、南方作戰間生起スルコトアルヘキ「ソ」聯ノ參戰ニ對シ對「ソ」作

戰ノ初動ニ於テ受動ニ陥ラザル作戰指導、特ニ航空作戰ノ指導トノ

關係ヲ如何ニ考慮セラレアリヤ（山田大將）

98

一、地上作戰ニ關シテハ既ニ所謂對「ソ」百號態勢ノ充備ニヨリ之

カ作戰準備概ホ完整シアリ

一、航空作戰ニ關シテハ所要ノ兵力ヲ對「ソ」警戒ニ充當シアリ敵

ノ空襲ニ對シテハ機ヲ失セス獨斷對處シ得ル如ク八月上旬大命

0429

ヲ仰キ現地軍ニ下達セラレアリ

又南方作戰終了セハ速カニ所要ノ兵力ヲ北方ニ轉用シ對「ソ」  
情勢緊迫ニ際シテハ積極自主的ニ之ニ對處シ得ヘシ

0430

一、對米英作戰カ支那事變解決ノ將來ニ及ホス影響

(土肥 著)

ノ交戦權ヲ發動シ沿岸對鎖ハ徹底的ニ行ハルヘシ

2 租界ヲ接收スルコトニ依リ蔣政權ニ與フル物心兩面ノ打撃大

3 「ビルマ」攻略ニ伴ヒ「ビルマルート」ヲ遮斷シ得

4 帝國ノ對米英斷乎タル決意ハ支那民族ニ與フル形而上ノ效果大

ナリ

5 米英ハ支那非占領地ヲ基地トスル航空作戰ニ依リ帝國南方作

戦ヲ脅威スヘキモ之ヲ解撤スルコト容易ニシテ問題トナラス

0432

一、對米英蘭戰爭ノ本義如何

本戰爭ハ世界變ヲ興ニスル日米兩國國策ノ衝突ニシテ本戰爭ノ本義ハまつろはぬ米國ヲシテまつろはしむる

ニ在リテ之ニヨリ自存自衛ヲ全ウシ大東亞共榮圈ヲ確立シ我國防ヲ安固ナラシメ作戦的ニ又長期戰的ニ不敗ノ態勢ヲトルモノナリ

一、南方作戰ノ意義如何

1. 米英支ノ戰略的對日包圍圈ヲ打破シ對支並對北方安定ト相俟ツテ

東亞ニ於ケル戰略上ノ不敗態勢ヲ確立ス

2. 米英ノ物心兩面ニ亘ル援蔣ヲ破碎シ蔣政權ノ抗戰意志ヲ喪失セシ

メ支那事變解決ヲ促進ス

3. 南方ノ資源ヲ確得シ自給自足態勢ヲ整備ス

4. 「アングロサクソン」民族ノ勢力ヲ東亞ヨリ一掃シ支那及南方民

族ヲシテ對米英依存ヨリ對日依存ニ轉セシム

5. 南方ニ於ケル亞歐ノ連絡提携ヲ促進ス

6. 米國ノ戰略資材タル「ゴム」「錫」等ヲ帝國ニ於テ獨占ス

0435



一、米英蘇支聯合ノ狀況如何

(1) 經濟合作ニ關スル事項

ノ米國ノ主動的立場ニ於テ米英蘭間ニ對日經濟壓迫ニ關セル具體的取極メヲ締結シアルコト明瞭ナリ

2. 米ノ援蔣行爲

(1) 米支一億米佛新借款ノ外法弊安定資金ノ供與

(2) 緬甸「ルート」ノ援蔣數量月額一五、〇〇〇噸

3. 米ノ援「ソ」行爲

九月末ニ浦鹽港ニ八隻ヲ輸送スミ（航空「ガソリン」飛行機材料ヲ主體トス）

但シ先般米當局ハ援「ソ」航路ハ太西洋ヲ經テ「アルハンゲルスク」ニ行フ旨宣言セルモ末タ其實ナシ

ニ、軍事提携ニ關スル事項

1. 米國軍事使節團「マガルター」代蔣一行ノ重慶訪問軍事的戰略的

0437

對支協同ヲ準備シアリ

2. 英支米空軍合作

3. 米英蘭ノ「マニラ」軍事會談

103

0438

一、作戰必成ノ爲總制裝備ニ如何ナル改善ヲ加ヘアルヤ

1. 馬ヲヤメ自動車採用

2. 衛生機關充實

3. 化學戰ヲ顧慮セス其裝備ヲ除ク

4. 人員ノ輕裝運搬機關トシテ自動車配屬

5. 航空路聯隊ノ新設

6. 上陸作戰ノ爲

104.

0439

(イ) 船舶高射砲、通信隊、航空廠ノ新設

(ロ) 揚陸團ノ新設

7. 占領統治ノ爲

(イ) 軍政部ノ新設

(ロ) 採油班ノ新設

0440

下國土防衛上主トシテ防空ノ見地ヨリ

(一) 帝都其他重要都市竝ニ産業機關ノ防空ニ對スル見込如何

(二) 敵ノ空襲ニ依リ豫期スヘキ軍需生産能力ノ損害程度見込如何

判 決

空襲判断左ノ如ク之ニ對シ現在ノ軍防空戦力（兵力配置ハ別圖）及  
官民防空能力ニ依レハ其ノ被害少ニシテ戦争遂行ニ支障ヲ來スコト

ナキモノト認ム

一 説 明

一、戦争初期（遠爆機ハ現在比島ニ四、五十機、「アラスカ」ニ約百機、重慶ニ約三十機）

我カ内地要地ニ對シ夫々一ヶ月ニ多クモ二、三回（一回十數機）ノ空襲ヲ受クル程度ナラン

二、爾後戦争長期化シ米空軍カ極東「ソ」領ヲ利用スルニ至ラハ（極東「ソ」軍ノ遠爆機ハ約八十機）

0442

一ヶ月ニ五、六回（一回二、三十機）ノ空襲ヲ受クルナラン

三但シ局地（台湾北滿北鮮樺太北海道等）ニ對シテハ更ニ考慮ヲ要

スヘシ

106

0443